

*このコーナーは、寄稿者が次の寄稿者を紹介して隨想をリレーしていくコーナーです。

たまに、子供たちを連れて秋葉山の遊歩道を散歩することがある。コナラ、クリ、ハンノキなどの雑木林の小径を行くのは、四季それぞれに快適である。また、眼下の蒲原平野、栗ヶ岳、川内の山々、菅名岳、五頭、佐渡などを見るのもなかなか雄大である。そして、普段の生活の場のす

遊歩道の夢

伊藤

直（滝谷本町）

ぐ近くにこのような自然環境のあることを幸運だと思う。ここはまた、子供の頃の思い出の場所でもある。秋葉湖で父にボートに乗せてもらつたこと、のちにここで泳いだこと、幼馴染みと崖登りやスキーをしたことなどなど。

秋葉山ばかりではなく、この新津には大都会で失われた四季の変化があ

けたいと思うようになつたとき、その希望がかなえられるものであることを感じたい。この土地が自然豊かで、文化の薰りもさらに高くなり、雇用の場が確保されるなら、若い人たちも地元に定着したいと思ふようになるだろう。

ところが現実は、学校を出ても市内周辺には適当な職場がなく、や

り新津市が存続し、内容条件ではなかろうか。良い自然環境を保全しながら、子供たち、そして子孫たちが将来にわたり、この土地で生活し、働き、能力を伸ばしていくようになればいいなど、遊歩道を歩きながら夢見る

り、街中に緑の薰りがあり、市民の比較的ゆったりとした人間らしい生活がある。このような土地に生まれ育ち、職を持ち、家庭を持ち、生活を営んでいくことに、私は幸せを感じている。翻つて、私たちの子供たちについて考えるとき、もし、彼らが大人になってこの土地に住み続

むなく県外へという場合が多い。また、Uターン希望者を受け入れるに足る職場も少ない。この土地を愛して働きたいと願つても、それがかなわぬというのは、当市の損失であり、情けないことである。

雇用の場を拡大することは、子供たちがこの土地に住み続けるための基盤をつくることであり、将来にわたることで、将来にわたることで、将

新津の巨樹・名木⑦



福王寺の大赤櫻

[市の指定文化財]

山谷町1丁目の福王寺には、本堂とその東側に連なる庫裡の北庭に築山があり、赤櫻、裏白櫻などの樹木がうっそうと茂っています。それらの中で、特に目を引くのが大赤櫻で、風格ある巨木として庭園の要の樹木になっています。赤櫻は、ブナ科の常緑大高木。葉は厚くて堅く、先端はとがっています。果実がどんぐりといえ、子供たちにもよく知られている樹木です。

福王寺の赤櫻は目通周りは約3m弱で、樹齢は約300年と推定されています。市内には赤櫻はかなり多く見られますが、目通周り2m以上の巨木は非常に少なく、しかもその大半の樹木が腐朽しています。残念ながら、福王寺の赤櫻に比較するものは見当たりません。

新津市の人口

男	31,835 (- 12)	5月31日現在 ()内は前月比
女	34,213 (+ 5)	
計	66,048 (- 7)	
世帯数	18,641 (+ 9)	

5月中の動き

出生 41 死亡 44 転入 117
転出 121 結婚 35 離婚 3

お買物、ご用命は市内で

安い！ 楽しい！ 嬉しい！

横浜亭へ
二次会無料
TEL 22-2225

銘菓・松坂羊かん・栗太郎
涼味水まんじゅう・フルーツゼリー

ご慶弔式菓子



田家屋



新津市本町四丁目 TEL 22-0430